

森で
学ぼう

親子「子ども樹木博士」 チャレンジ！2026

福島森林管理署では平成26年度から、福島民友新聞社との共催で「子ども樹木博士」のイベントを開催しています。

この「子ども樹木博士」は、木の名前や特徴を、樹木を識別できるようになることを通じて、森林に親しんでもらうことを目的とした活動です。今年は8月2日、福島市土湯温泉近くの南澤国有林において、3家族9名の参加者を迎えて開催しました。

当日はあいにくの雨天となったため、林内での観察は行わず、あらかじめ採取しておいた枝葉を使ってテント内で学習を実施しました。限られた環境での開催となりましたが、参加した子どもたちは興味津々な様子で説明に耳を傾け、一生懸命に樹木の特徴を学んでいました。



参加者の皆さんは「樹皮がペラペラ剥けるダケカンバ」や「樹皮から湿布の匂いがするミズメ」などさまざまな樹木の特徴を学びながら、香りを嗅いだり樹皮に触れたりして、五感を使って木の名前を覚えていました。

試験では、真剣に問題に取り組む姿が見られました。その結果、参加者全員が15問すべてに正解する素晴らしい成績を収めました。

試験終了後に「子ども樹木博士」の認定書が授与され、嬉しそうに受け取っていました。

我々スタッフにとっても、参加者の皆様と子ども樹木博士を通じて、交流することができ自然や森林、樹木について学ぶ楽しさや、その魅力を改めて実感する一日となりました。雨天のため活動内容は限られましたが、皆様の熱心な姿勢に支えられ、充実したイベントとなりました。



当日の様子が福島民友新聞にも掲載されました。

「樹木博士」目指し種類や特徴学ぶ、福島で親子教室:民友のイベント:福島民友新聞社